

忘れられず屢々家を外に歩き廻り居りしが昨年大晦日の夜父が按摩の書出しをなし居るを見一眼の父の心付ぬに乘じ後方より覗き込て其金高と家名とを覚え置き先へ廻つて得意客より八十錢を受取り其れを着服して家を飛出したる程の大膽さと智慧が付き來り元日の夜附近の軒下に臥し居たるを隣人に認められ宅に伴ひ來れるが又もや二日家出しへ深川不動へ赴き遊べる子供を捉へて活動寫真を見せてやるからと言葉巧みに誘ひて公園の物淋しき處へ伴ひ行き懷中せし十三錢を墓口と共に奪ひて一目散に逃出し其よりは歸宅せず所々を彷徨せしが遂に十日既報の如く西河岸の富永辰藏方へ放火し事の紛れに盜みを働くかんとする迄に至りしが子供の事とて同家の雇人が同人を伴れて父の父の許へ赴きありし次第を語りしに松五郎は餘りの事に言葉も出てす泣いて罪を謝したるが是迄義雄の惡所爲より姉しげは學校へ行きてても何かと云へば友達より泥坊の兄弟と罵られて肩身も狭く親とても梓の不所存より客の信用にも拘はる事多く義雄一人の爲に一家は世間に顔出しならず化しき日

を送り居たにも又もや放火の大罪を犯せし事を聞きたる親心の切なさ情無さ、我身は何となるとも懨なれど可愛い子供の行末が恐ろしく又懸念さに涙を揮つて最愛の子を警察に伴ひ行きしなりとは彼等が親心思ひ遣られて憐れは深し

德育の開發につきて

光 藤 夫 人

野蠻時代と子供時代とよく似通うて居る事は今更申述べる必要もない様で御座いますが實に子供は野蠻時代を表現するものというてもよろしい。身體の大きな力の強い方が何でも勝つ。何か言合をしても争をしても、すぐ腕力に訴へる。幼少なものが泣いて助けを母なり其の外の人に求めるのは野蠻時代のが弱きものが強者に打負かされて他の強きものに助を求むると一般實に相似通ふ點がいぢぢるしい。だから子供は餘り細密にキビ／＼と干涉するはいけませぬが、又餘りに放任主義でも

困ると思ひます。私共は一子供訓練の大綱を握りて其間達ひなき事を確信しました上で何のことはない五人ながら皆一緒に遊ばせておいて其中で無理な事をしたり性の悪い事をしたり。いためたりする時は其事件の大小によりまして相當の罰を施すので御座ます。

三つ児の魂六十までとは實に穿てる鉢言である。

よし中途にして改心して悪人の善人になりたる談はあるが、矢張丸きり變りましたのではなくて、只何かの動機により三つ児の魂に戻りしものではありますまいか、實に栴檀は二葉より香ばしいとかア、德育の基礎換言すれば其人一生を通じての人格の基礎は已に已に其の三つ児の時に其の種子を播かれたのではありますまいか。

私は五児を日々、研究的に觀察しますと種々な事を發見いたします。其の大體を申述べますれば長男は生れ落つるとすぐ母親の暖かき懷に抱かれ格別初子の事ではあり、眞に満腔の愛情を與へて育てました。百ヶ日を過ぎると学校の方へ出ますので祖母の手にはぐまれて、子より可愛いといふ

愛情を注がれました。下女に預ける年頃になりますと、間もなく幼稚園に通ひました。殆んど無教育な下女などに久しく接する事なしに、今日に至つた故か、極すなほで、反動とかスネルとかいふ様な惡徳は少しもありません。いたづら盛りの事ですからづいぶん悪戯もしますが、訓戒されますとすぐ改めますが、長女の七歳になりますのは生れ落つると下女の手に抱かれました。私の學校通りの留守には下女と共に遊んで居りました。性質も無論あるでしょうけれども、ドウも無教育な下女風情に多く接して其感化を受けたものがスネルよく泣くよく怒るとか卑劣な根性がよく現はれます。之が矯正に力を盡しますが、まだ中々思ふ様になほりません。其の變り物事に敏捷で物覚えのよい事は長男の及ぶ所では御座いません。三番目の子はモーよく太りました一時に七椀位も平けて五歳の兒童大人のおとがひを解かせるといふ事もありまして中々他の兒の比では御座いませんが性質は至極温順な方で且數の觀念に乏しいので馬鹿ではあるまいかと心配しましたが、種々智徳の

發展につとめました故か、今日では大方普通の子に達ひありません。天性とでもいふのですか人のよい事は目立つ程で自分から兄弟の外の子をいちめるといふ様な事はありません。四番目の子になりますと丙の午の歳に生れましたから皆々屹度ハネ馬に達ひないと笑つて居りましたのが誤らず實に馬見た様な荒い性質がほの見えます。

末子は生れてより、學校をやめて育て上げた故か少しも、まがらず、くねらず、いたづらもづいぶんしますが止めればすぐやめるといふ風でいちがわるいといふ點が御座いません。

同じ血を受けし五児が皆其趣を異にしいたして居ります。之は無論教育の結果でも御座いませうが一つには氏より育ちの反対で育ちより氏といふ事が大きな原因ではないかしらと自分は觀察いたして居ります。

この幼兒を毎日抑へず、おだてず、眞面目な紳士淑女に育て上げたいものであると苦心して居ります。私は今更ながら母の感化が偉大であるといふ事を恐れるのであります。私如き長所よりか

短所の多い人間の感化を受けたら子供がどんなになるかと思へば一日だとても我儘な心は出されません。一時だとても勝手な振舞は出来ません。慎み恐れて眞に子供の將來の祝福を祈ること母としての務が盡し得られるのであると、是を實行して始め心が安まります。

母の感化の偉大なる實例

世界の偉人ジョージワシントンを讀する人がありますならば先づ其の母を知るべきではありますまい。長い戦争の結果多くの人に推されたります。母は當時何事をして愛兒の世に比ひなき顯榮を喜ばれましたか。我が懷に育て上げし幼子は今や思ひ及ばざりし富貴を一身に集めて、萬人の尊敬を受くるの身となりました。普通の母でありましたならばどうなさいますか別にのべる必要はありますまい。ア、其時其當時は其の母は住み馴れし片田舎に相もかはらず麥を作りてパンの材料をば得つゝあられたではありませんか。人が往いて其令息の今日の榮達を語り少し

立派な生活をなさいましと進めますと母君は答へて

ア、我が兒は長き戦争をしてすゑぶん疲れた事であらうと存じます。今皆様のお蔭で戦に充ち高き位にさへ上りましたと聞きましては眞に心づかひが多い事であらうと思はれます。貴ければ其れに伴心盡しも一層あらうと存じます。どうか少しでも政治の暇を得て此郷里に静養する事がありますれば、多くりますと

ア、何といふ健氣な母君で御座いませう。何といふ質實な御氣性下御座いませう。此母にして此子ありでは御座いますまい。世の虚榮の夢にあこがれて娘時代には親御の出世を鼻にかけ妻となりては、良人の地位を利用して、出來得る限りの贅澤に浮身をやつさる、當今奥様お嬢様に此偉人の爪の垢でも煎じて上げたらばと

ア、我が兒は長き戦争をしてすゑぶん疲れた事であらうと存じます。今皆様のお蔭で戦に充ち高き位にさへ上りましたと聞きましては眞に心づかひが多い事であらうと思はれます。貴ければ其れに伴心盡しも一層あらうと存じます。どうか少しでも政治の暇を得て此郷里に静養する事がありますれば、多くりますと

ア、何といふ健氣な母君で御座いませう。何といふ質實な御氣性下御座いませう。此母にして此子ありでは御座いますまい。世の虚榮の夢にあこがれて娘時代には親御の出世を鼻にかけ妻となりては、良人の地位を利用して、出來得る限りの贅澤に浮身をやつさる、當今奥様お嬢様に此偉人の爪の垢でも煎じて上げたらばと

之を見ても子供の德育を云々するものは先づ其母の人格を高くするの必要があるので御座います。母にして性格が劣等であれば其兒の將來は思ひやるべきで御座います。さうで御座いますからどうしても母自身に努力して其の智徳を高むると同時に、子供に好感化を與へるの工夫をしなければなりません。

で御座います。田舎見た様に廣漠たる野原で他様の子供衆も一緒に思ふ存分遊ばすといふ事が出来れば、誠に結構でございますが、斯な小さな家庭に閉籠て活氣を抑るといふ所謂箱詰主義にでもする様な仕方は誠に子供の心身の發展を沮害しはせずやと憂ふるの餘り私はモーモー出来る丈ゾロ／＼と田舎らしき所に連出して活動さして居ます。

寄綴の仕方

上村百代女史談

賢明の譽の高かつた英國の故ビクトリア女皇は皇女方に技藝をお學ばせになつて之に因りて貯銀を得ることの如何に至難なるかを味はせると申すことであります、近頃日本では女子の技藝教育が非常に進歩して參りまして各種の手藝が各階級の婦人間に流行して居ります、併し此技に因て相當の収益あるまでに上達する人は幾人ありませうか、それはなか／＼むづかしいことであります假令それほどの技倅を有するには至らずとしても一ツ

の技藝が身に附て居りませば其人の一生には大變な便利であります、唯之を學ぶ事が▲流行を趁ふ一時の虚榮の一ツに終らぬやうに致したいと思ひます、尙ほ一層進んでは自分の學びました事が一家の經濟上にも利益するやうになります誠に結構です、それ故私は何なりと未熟な身に及びますことを御話しするのは厭ひませぬが、何分にも手先の業は紙上で説明しても御了解にはなり悪からうと思ひます、併し折角の御尋ね故家庭の主婦に取つて最も必要なる「カケハギ」の四五種を申上げませう

▲縮緬や絹布に横裂がしたとか或は裁ち間違ひをしたとか或は洋服に鍵製をしたとか申す場合に奥様方が御自分でお縫ひなさることが出来ましたら大へんに重寶です、それに反して一々之を商賣人の手に掛けましては急の間に合はぬのみか非常に高い貯銀を取られます、勿論綴物と申すことは普通學校の裁縫科でも教へますが本來は縫宿師の仕事で、裁縫教師の教へますのは、獨特の技倅を以てしますので、所謂縫宿師のする綴物の仕方と